

働く生きる私らしく
from よぞのうみ

A young man with dark hair and a black t-shirt is seated at a light-colored wooden table. He is looking down at a stack of clear plastic containers, which appear to be part of a larger collection. The containers are stacked in a pyramid-like shape. In the background, there is a large window or glass door leading to an outdoor area with a red railing and green trees. A black office chair is visible to the right. The lighting suggests it might be daytime.

第3回 働くことは、みんなとつながること

みやづ作業所 西垣幸子

支援H型事業と生活介護事業の多機能型の事業所です。B型事業所は、陶芸作業を中心に行っているくじら班と下請け作業を中心に行っているミツキーラ班に分かれており、資源回収・リサイクル作業は2班合同で協力し合いながら行っています。生活介護事業のどんぐり班は、下請け作業・物品販売・印刷作業を行っています。今回紹介する大島さん（仮名）は、ミツキーラ班に所属しています。

正義のヒーローにならなければならぬ大島さん

きたときには戸や閉めたノを踊る。大きな声を出したり他者を叩いたりする人のことは許せず叩く、こだわりや突發的な予期せぬできごとが起った時にも、暴力という形で自分の気持ちをぶつけてしまします。

ど、彼に合わせた環境を見直しました。1日の流れをわかりやすく整理することで、集団のなかでも少しずつ安定した生活が送れるようになつていきました。イライラした時の気持ちを表現してもらう方法として4コマ漫画を描き、その時の気持ちを確認することで、自ら「こうだった」と話をしてくれれるようになつてきたのです。

環境整備するなかで、暴力につながることは以前に比べると少なくなつてきました。しかし、暴力につながらないために気になることは排除していくという彼優先の

自ら「こうだった」と話をしてくれるようにもなってきたのです。環境整備するなかで、暴力にながることは以前に比べると少なくなっていました。しかし、暴力につながらないために気になることは排除していくという彼優先の支援となっていました。

そこで、同じ班の仲間たちが安心して作業に向かえるようにする

シール貼りのプロの大島さん

ことで、その思いを受け止め対応してくれる仲間たち、職員がいることを経験するなかで学び、思いを少しずつ伝えられるようになります。言葉を発することによって暴力につながらず終わりがつけられるようになってきたのです。

現できずイライラしている様子が見られた時には、「言葉で伝えました。自分の思いを言葉で伝えるように継続して声掛けし、返つてくる言葉をていねいに受け止める間を大事にしました。

継続することで「静かにしてください」「戸を開けて待つてください」と言葉で伝えられるよう

品の下請け作業を行っています。1つの商品を完成させるため、工程を細分化し、役割分担してとりくんでいます。みんなが協力してとりくまないと、1つの商品が完成しないのです。まず、大島さんがシールを貼ります。シールを貼つてくれないと、ほかの仲間は作業が行えません。作業のなかで、代わることができない自分だけの

現できずイライラしている様子が見られた時には、「言葉で伝えましょう」と統一して声かけを行いました。自分の思いを言葉で伝えるように継続して声掛けし、返ってくる言葉をていねいに受け止める間を大事にしました。

継続することで「静かにしてください」「戸を開けて待ってください」と言葉で伝えられるようになつていきました。言葉で伝えることで、その思いを受け止め対応してくれる仲間たち、職員がいることを経験するなかで学び、思いを少しずつ伝えられるようになります、言葉を発することによつて暴力になつがらず終わりがつけられるようになつてきたのです。

今では彼のことを「シール貼りのプロ」と呼び、仲間のなかで認められています。集団のなかで認

品の下請け作業を行つています。1つの商品を完成させるため、工程を細分化し、役割分担してとりくんでいます。みんなが協力してとりくまないと、1つの商品が完成しないのです。まず、大島さんがシールを貼ります。シールを貼つてくれないと、ほかの仲間は作業が行えません。作業のなかで、代わることができない自分だけの役割があり、彼がいないと作業が行えない状況をほかの仲間も本人も理解しており、「頼んだよ」と言われると「任せとけ」の返答が返ってきます。

障害のある人の労働を考える -



ためには、職員だけでは対応が困難だつたため仲間にも協力を得ました。戸は開けておく、給食の片付けを1番にしたいという思いがあるため待つ、とりくみ等で車が出る時は、大島さんが1番に出願いしました。

 シール貼りのプロの大島さん

められる自分があり、自己肯定感を高めていくなかで存在意義を見いだせたのではないでしようか。

助け合って一緒に運ぶ、ほかの仲間の作業工程を理解する、作業を分担してみんなと協力して完成させるなど、毎日の作業を共同することでの、今まで大きな声を出したり物を投げたりする気になる存

日本三景「天の橋立」がある宮津市にみやづ作業所はあります。

人を殴って悪を倒してしまいます。
また、負けず嫌いでなんでも1